

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名 鶴見区

学 校 名 今津小学校

学校長名 山口 門真

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・今津小学校では、第6学年 78名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

大阪市立今津小学校の平均正答率は、国語・算数・理科の全教科で全国平均および大阪市平均と比較して同等か、それを上回る結果となった。

- ・**国語**: 学校の平均正答率は67%で、全国平均(66.8%)を1.8%上回った。
- ・**算数**: 学校の平均正答率は58%で、全国平均(58.0%)と同率であった。
- ・**理科**: 学校の平均正答率は59%で、全国平均(57.1%)を2.1%上回った。

教科ごとの無解答率については、算数は全国平均と同程度だったが、国語は4.0%と全国平均(3.3%)をやや上回った。理科は平均正答率が全国平均を上回った反面、無回答率も0.9%上回った。児童質問調査では、多くの児童が「先生や学校にいる大人にいつでも相談できる」と感じており、肯定的な回答の割合は全国平均を上回っている。また「人の役に立つ人間になりたい」と考えている児童の割合も高い傾向が見られた。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

成果

- ・**学力全般の向上**: この数年、研究教科として取り組んだ算数科は対全国比1.00となり過去5年間で最高値を達成した。また国語・理科においても平均正答率は全国平均を上回った。
- ・**理科の強み**: 「地球」を柱とする領域では全国平均を上回る正答率を示しており、総合的な理科の学力が高いことがうかがえる。

課題

- ・**国語の無解答率**: 国語の無解答率が全国平均を上回っており、問題に対する粘り強さや最後まで取り組む姿勢に課題がある可能性が考えられる。
- ・**国語の読む力の向上**: 国語の「(1)言葉の特徴や使い方に関する事項」に関する平均正答率が他の領域に比べて低く、文章を読み解く力や、内容を正確に把握する力に関連することを考慮し改善の余地がある。

質問調査より

成果

- ・**相談意識の高さ**: 困ったことや不安なことがある時に、先生や学校にいる大人に相談できると回答した児童の割合が、全国平均を上回ることができた。
- ・**自己有用感の定着**: 質問項目「人の役に立つ人間になりたい」では、肯定的に回答する児童の割合が高まってきており、自己有用感の育成が進んでいる。

課題

- ・**生活習慣の乱れ**: 「朝食を毎日食べているか」や「毎日同じくらいの時刻に寝ているか」の質問に対し、肯定的な回答の割合が全国平均を下回っている。
- ・**自己肯定感と目標意識**: 「自分にはよいところがある」と回答した児童の割合は全国平均より低い。また「将来の夢や目標を持っているか」という質問に対しても、否定的な回答をした児童の割合が全国平均を上回っており、自己肯定感や目標を持つ意識の育成が今後の課題である。
- ・**他人を助ける力**: 「人が困っているとき、進んで助けているか」という項目でも全国平均を下回っており、他者を思いやり、自主的に行動する力の育成が課題と考えられる。

今後の取組(アクションプラン)

教科に関する調査の結果から

- ・**国語の読む力向上**: 授業時間内での読書活動や、読解力を養うためのワークシートを活用し、多様な文章に触れる機会を増やす。また、要約や意見記述の練習を授業に積極的に取り入れることで、文章の内容を深く理

解する力を養っていく。

・**粘り強さの育成**: 無解答率が高いという課題に対し、教科横断的に「最後まで考え抜く」ことを促す指導を徹底していく。自力で解決できない問題は、ヒントや思考の過程を整理することで、諦めずに取り組む力を育てることに努める。

質問調査の結果から

・**「自己肯定感・自尊感情」の育成**: 児童が自分の良い点を発見し、認めることができるような、個々の活躍の場を創出する。係活動や委員会活動、異学年交流を目的とした「たてわり班活動」などを通して、集団の中での役割や貢献を実感できる機会を増やしていく。

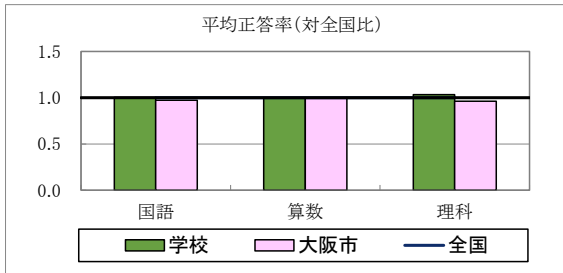
・**「目標設定・自己実現」に向けた支援**: キャリア教育の一環として、区教育関連事業を活用し外部講師を招いた出前授業や、児童が将来の夢や目標について発表し合う時間を設けていく。また、日々の学習や生活の中で、児童自身が小さな目標を立て、その達成を教職員が丁寧に称賛することで、成功体験を積み重ねていく支援を行っていく。

・**「規範意識・社会性」の向上**: 生活指導において、学校のきまりの意義を児童に丁寧に伝え、主体的に守る意識を育てていく。また、道徳等の時間を活用し、他者の気持ちを想像するロールプレイングなどを取り入れることで、共感力や思いやりを育むことを目指していく。

【 全体の概要 】

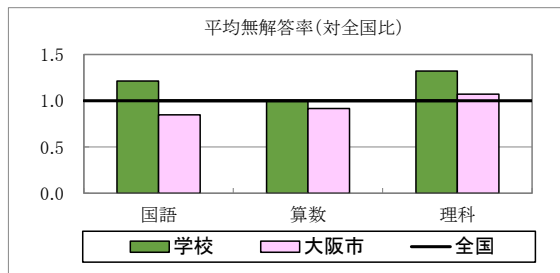
平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	67	58	59
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	4.0	3.6	3.7
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8



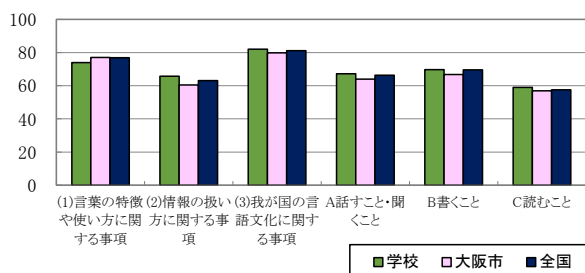
【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い 方に関する事項	2	73.9	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	65.7	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	82.1	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	67.2	64.0	66.3
B 書くこと	3	69.7	66.7	69.5
C 読むこと	4	59.0	56.9	57.5

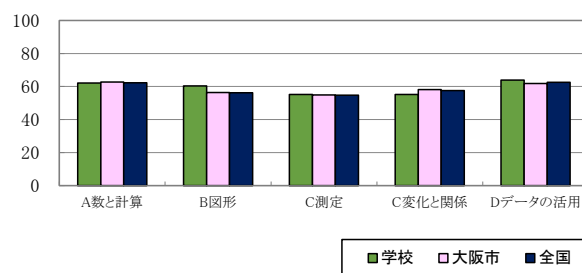
【 算 数 】

学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	62.1	62.7	62.3
B 図形	4	60.4	56.4	56.2
C 測定	2	55.2	54.9	54.8
C 変化と関係	3	55.2	58.2	57.5
D データの活用	5	63.9	61.9	62.6

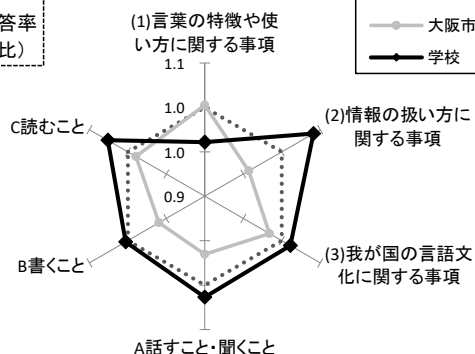
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



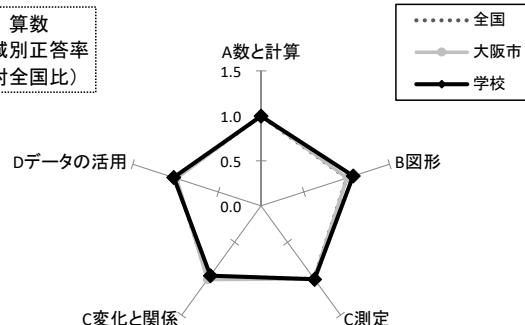
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

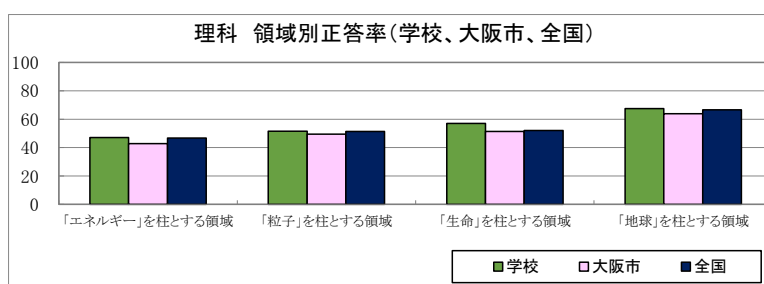


算数
領域別正答率
(対全国比)

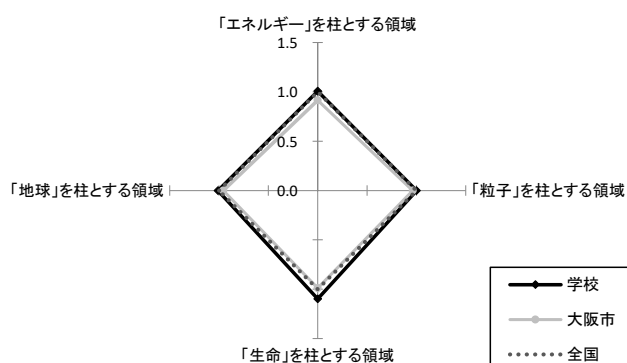


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	47.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	51.5	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	57.1	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	67.4	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

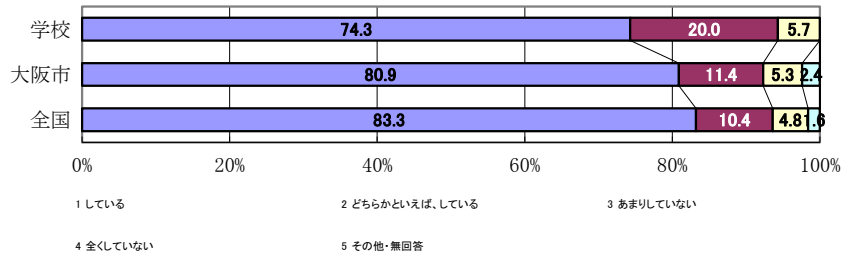
4

5

6

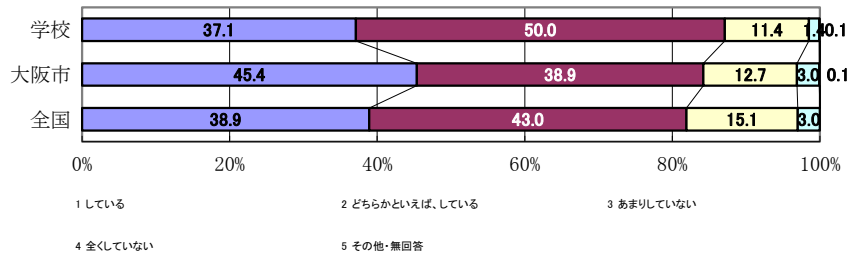
7

8



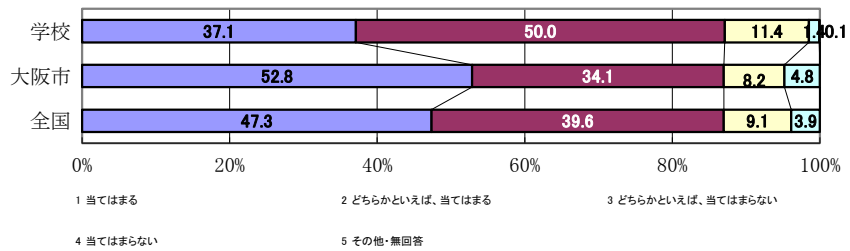
2

毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



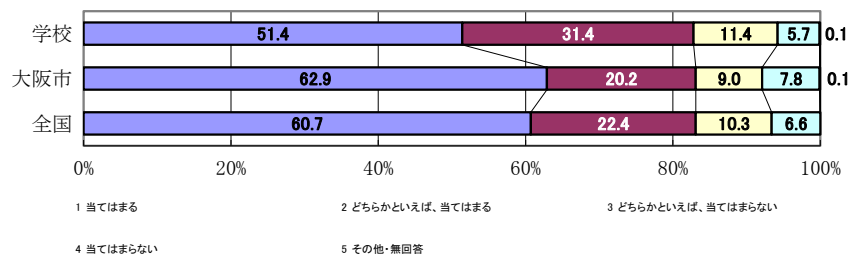
5

自分には、よいところがあると思いますか



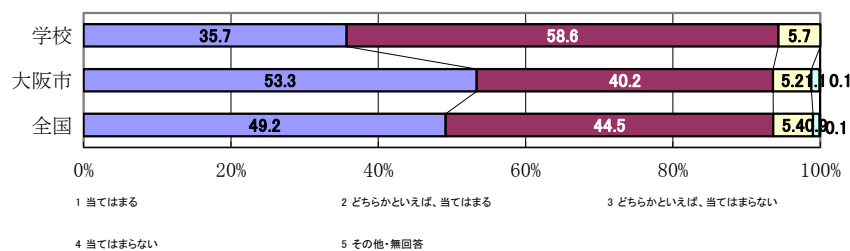
7

将来の夢や目標を持っていますか



8

人が困っているときは、進んで助けていますか



児童質問より

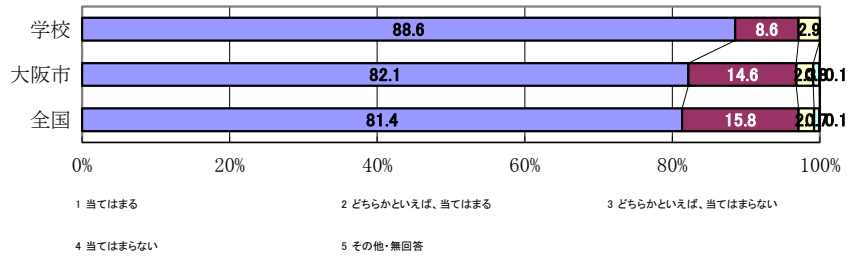
質問番号

質問事項

9

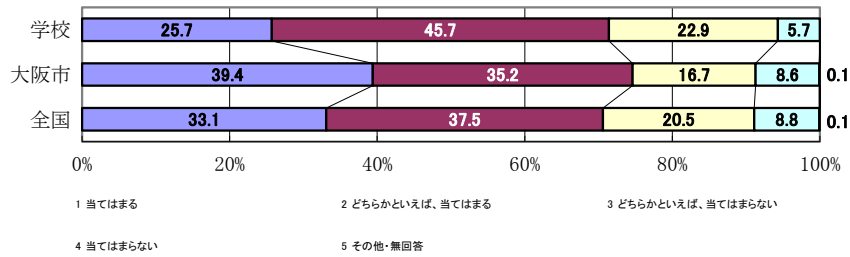
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



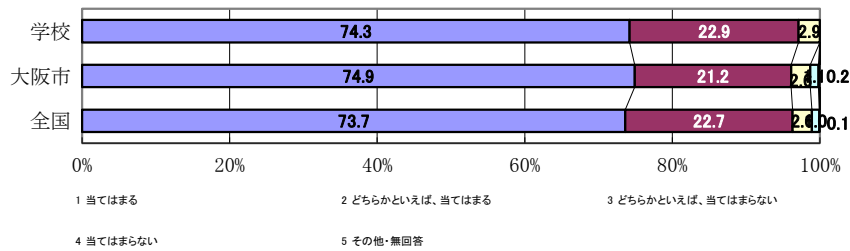
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



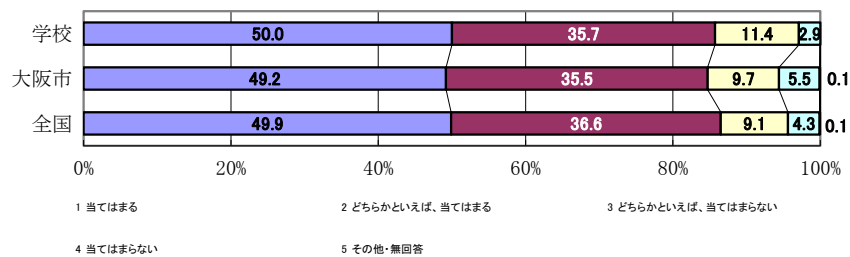
11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



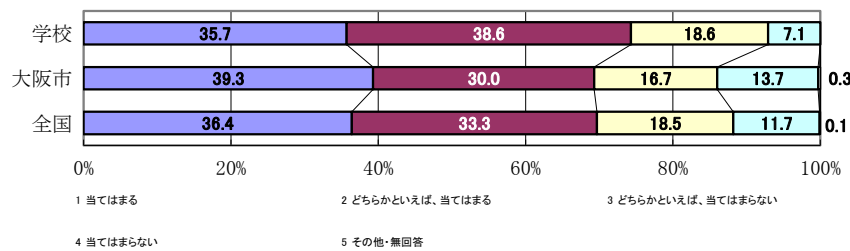
12

学校に行くのは楽しいと思いますか



24

読書は好きですか



児童質問より

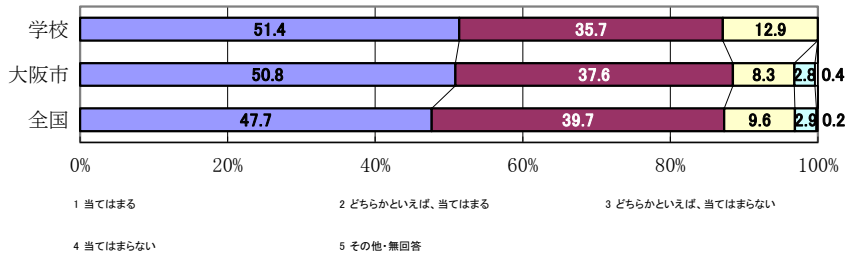
質問番号

質問事項

38

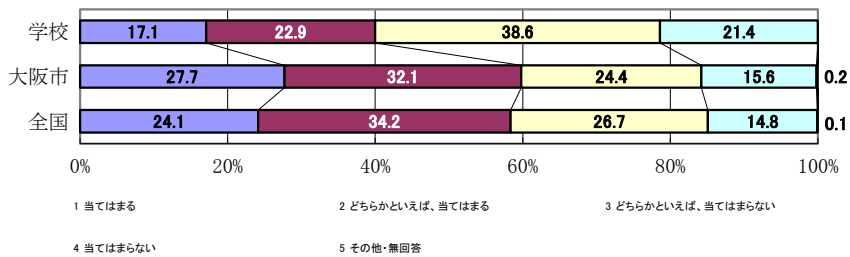
先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8



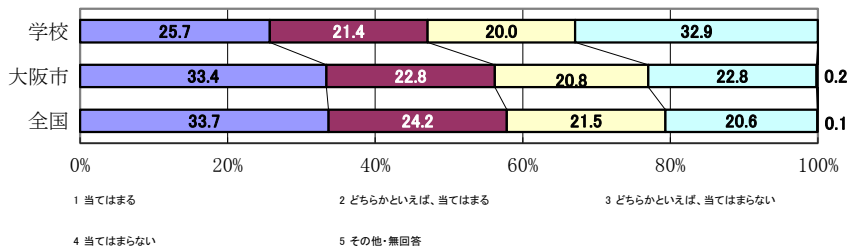
45

国語の勉強は好きですか



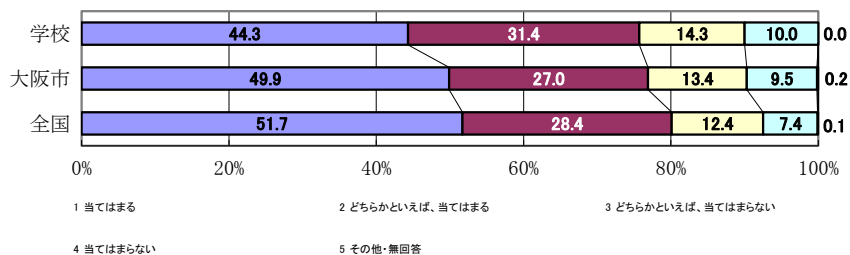
53

算数の勉強は好きですか



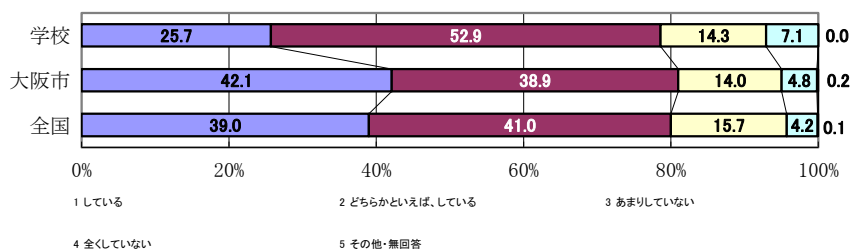
61

理科の勉強は好きですか



71

健康に過ごすために、授業で学習したことや保健室の先生などから教えられたことを、普段の生活に役立っていますか



学校質問より

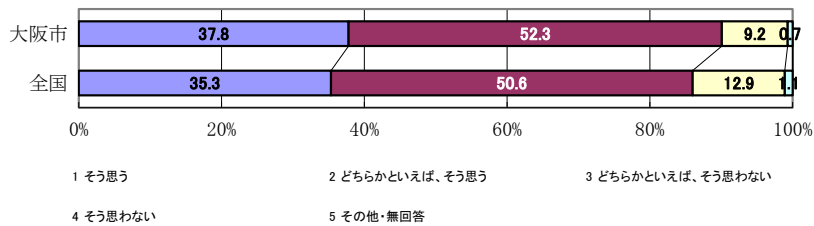
質問番号

質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

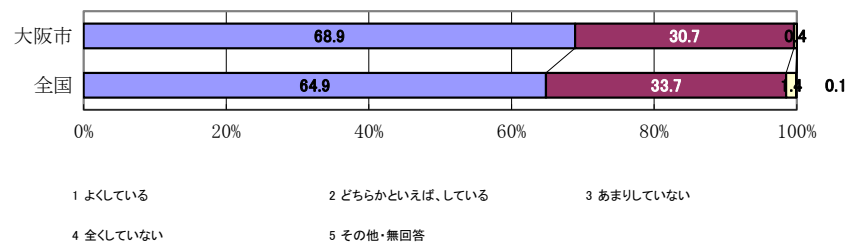
学校 「そう思う」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

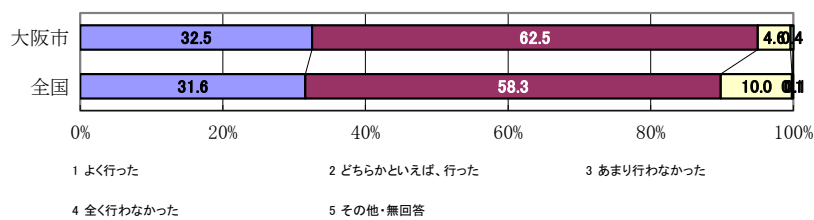
学校 「よくしている」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

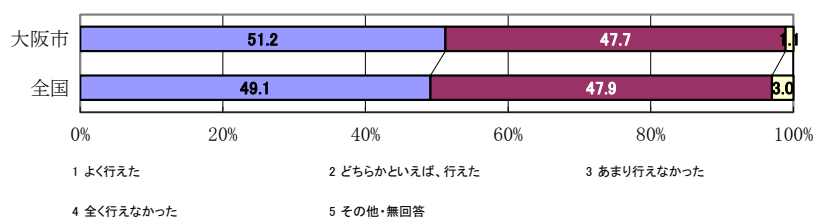
学校 「よく行った」を選択



48

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、授業で、学習上つまづいた児童に対する対応を行っていましたか

学校 「よく行えた」を選択



81

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習について、児童が自分で学ぶ内容や学び方を決めるなど、工夫して取り組めるような活動を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

